

【報道提供資料】

平成30年4月29日 公表

山梨県福祉保健部健康増進課

課長 下川 和夫

感染症担当 浅山・相川

(直通)055-223-1494 (内線)3511~3514

件名	麻しん(はしか)患者の発生について
内容	<p>平成30年4月29日、中北保健所管内の医療機関から麻しん発生の届出があり、行政検査の結果、麻しんウイルスが検出されました。当該患者の病型は修飾麻しんであり、典型的な麻しんの症状が少なく、感染力は弱いとされています。</p> <p>当該患者は、平成30年4月23日、他疾患による入院後に発症しており、管轄保健所の調査により医療機関等における接触者については、健康観察対象者を特定して対応しています。</p> <p>なお、沖縄県等の麻しん事例との関連は確認されていません。</p> <p>(参考)患者情報</p> <p>中北保健所管内在住 50代 男性(麻しん予防接種歴なし) 発症日 平成30年4月23日(発熱) 確定日 平成30年4月29日 症状 発熱</p> <p>平成30年3月以降に沖縄県や海外への渡航歴はありません。</p> <p>麻しんの流行地域や海外渡航をされる県民の皆様へ(注意喚起)</p> <p>麻しんの流行地域への旅行や海外渡航の後に発熱、発疹等の症状が現れた場合は、必ず事前に医療機関に症状等を連絡のうえ、医療機関の指示に従い受診してください。</p> <p>また、受診の際は、周囲の方に感染させないように公共交通機関等の利用を避けてください。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"><p><麻しん(はしか)について></p><p>原因: 麻しんウイルスの感染</p><p>症状: 典型例では、感染の約10日後に発熱や風邪症状、2~3日発熱が続いた後、39以上の高熱とともに発疹、咳が出現します。</p><p>予防: 予防接種がとても有効です。予防接種を2回された方や過去に麻しんにかかったことがある方は免疫があるとされますので、麻しんにかかったことがない方は予防接種歴を確認いただき、必要に応じて医療機関にご相談ください。</p></div>

今回の事例は接触者の把握が行われており、本事例からの感染拡大の危険は少ないと考えられますが、今般、沖縄県等での麻しん発生事例が多数報告されていることから予防啓発のため情報提供するものです